

巻頭言

上越市長

村山秀幸

Jネットの皆様、こんにちは。

皆様からは、会の発足以来、ふるさと上越市の応援団として、ご声援、ご支援をいただいております。心から感謝を申し上げます。

去る十一月九日、私は多くの市民の皆様のご支援を得て、市長に就任させていただきました。今後の市政運営に当たりましては、私の信条としております「約束を守り、きちんと説明し、決意をしっかりと伝える」ことを実践しながら、市民の目線に立った、市民から信頼される「温かい市政」を実現してまいりたいと考えております。また、それにより、上越市が「人が輝く、住み続けたいまち」「選ばれるまち」となり、次の世代に愛着と誇りを持って渡していくことのできる進化した上越市となるものと確信しております。

「人が輝く」ことは、即ち「地域が輝く」ことであります。市民の皆さんが、日々の暮らしを営んでいる地域の環境や生活上の条件は様々であ

り、そのことによつて感ずる不安や不自由さもまた多様であります。しかし、それらを軽減する「温かな」行政の取組を進めることによつて、人としての尊厳が保たれ、生きることの喜びを感じ、そして、元気で活力に満ちた人、輝いた人の中から自主的、主体的な地域活動が生まれ、ひいては輝いた人々が多く集う地域を形成できるものと信じております。そのような「人が輝くまち」「輝いている地域」に、人は居心地の良さや安心感・本質的な快適性を感じ、「住んでみたい」「これから住み続けたい」と思うのではないのでしょうか。

さらに、私は、子どもたちや次の時代を担う人たちが、将来もこの地域に住むことを選択してくれるよう、今の時代を生きる私たちの責任として、必要な受け皿・地域環境を用意し、その地域の可能性を広げるための手立てを講ずることを、これからのまちづくりや地域づくりを進める上での基本的な理念として位置づけているところであ

ります。

さて、Jネットの皆様からは、「ふるさと越後大使」として当市のPRや、「ふるさと市場」を活用したお米やお酒などの購入など、様々な活動を通して、当市の応援団となつていただいております。私自身、今年の春のふるさと交流会や、東京で行われた総会にも出席させていただきました。皆様の皆様と親しくお話しする中で、皆様のふるさとへの深い想いと期待の大きさを改めて実感いたしました。そして、Jネットの皆様からも、安心して帰ってきていただけるような「まち」にしたいと、決意を新たにいたしました。

Jネット会員の皆様には、ふるさと上越への深い想いを、これからも、ぜひ、抱き続けていただき、ふるさと上越の応援団として、今後とも格別のご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



- ・昭和23年10月14日生まれ
- ・上越市大淵区出身（妻と父は高田出身）
- ・昭和46年新潟県採用
上越地域振興局長を最後に退職。
- ・平成19年4月上越市副市長
- ・趣味…スキー・登山・花を育てること
- ・座右の銘…「徳は孤ならず、必ず隣あり」